Docker 勉強会 2回目

2024/2/7

事前準備

- Dockerを使える状態にしておく
 - インストール方法(Ubuntu20.04)

● (Docker Hubのアカウント作成)

参考書

実践 Docker - ソフトウェアエンジニアの「Docker よくわからない」を終わりにする本



Chapters

- 1部
 - 導入
- 2部
 - 基礎
- 3部
 - 応用

この資料について

- 1. 基本的には参考書に準拠して解説する
- 2. 取り扱わないトピックについては、 このように表記する
- 3. (今回の目的において)**特に大事なところは**ページ全体を**赤枠で覆う**



はじめに

目的

○ Dockerを普段から使うための簡単な理解をする

目標

- 複数のROSバージョンによる煩わしさから解放される
- ROS2勉強会のための環境をDockerで構築する

結局 何がしたいのか(便利なのか)

- ROSの複数のワークスペースやバージョンへの対応
 - □ 開発環境を統一しやすい(人へ簡単に配布できる)
 - apt installしたものまでバックアップできる(依存関係)
 - apt install ros-<distro>-* や ~msgsなど入れ直す必要がない
- CUDA 複数のバージョンを同じホストで共存できる
 - ドライバ, フレームワーク, ライブラリのバージョン管理が楽
 - ホストにCUDA環境を構築する必要がない
- →簡単に壊せて、どのマシンでも同じ環境を容易に再現できる.

実習のための準備

docker pullでイメージをダウンロード(2.08GB)

\$ docker pull masakifujiwara1/ros2:humble-orne-box3-sim

前回のおさらい

Ubuntu 22.04 のコンテナを起動してください

- オプションでターミナル操作可能
- それ以外のオプションは自由

\$ docker ps [option]

\$ docker stop ubuntu

前回のおさらい

イメージを指定するにはTAGを使う

\$ docker run [option] <image> [command]

ubuntu:latest == ubuntu:22.04

REPOSITORY: TAG

\$ docker run --rm ubuntu cat /etc/lsb-release \$ docker run -it --rm ubuntu bash

11: Dockerfileの基礎

- イメージをビルドする(docker image build)
- イメージのレイヤーを確認する(docker image history)
- Dockerfileの必要性と有用性
- Dockerfileの基本の命令
- Dockerfileの作成
 - FROM: ベースイメージを指定する
 - o RUN: 任意のコマンドを実行する
 - o COPY: ホストマシンのファイルをイメージに追加する
 - o CMD: デフォルト命令を指定する
 - 確認
- イメージをビルドする
- Dockerfileを複数扱うには
- レイヤーを確認する
- RUNをいくつのレイヤーにするか
- DockerHubのレイヤー情報を読み解く

イメージをビルドする(docker image build)

\$ docker build [option] <path>

オプション	意味	用途
-f,file	Dockerfile を指定する	複数の Dockerfile を使い分ける
-t,tag	ビルド結果にタグをつける	人間が把握しやすいようにする

Dockerfileの必要性と有用性

これまでに...

- コンテナ内で行った操作は、コンテナ終了とともに無かったことになる
- イメージは、レイヤーという情報が積み重なったものである

しかし、**用意されているものでは不十分な場合がある!**

例)ubuntu:22.04

- vimもgitもROSも入っていない
- → 自分専用のカスタマイズしたイメージが欲しい

Dockerfileの基本の命令

命令	効果	
FROM	ベースイメージを指定する	
RUN	任意のコマンドを実行する	
COPY	ホストマシンのファイルをイメージに追加する	
CMD	デフォルト命令を指定する	

例えば...

- \rightarrow Ubuntu:22.04
- → apt-get install vim
- \rightarrow hoge.txt(ホストpc)>> hoge.txt(Docker)
- → bash, date, cat /etc/lsb-release

2部 11: Dockerfileの基礎

Dockerfileの作成

```
$ mkdir docker-practice$ cd docker-practice$ touch Dockerfile
```

※Dockerfileは拡張子なし

2部 11: Dockerfileの基礎

FROM: ベースイメージを指定する

\$ vim Dockerfile

FROM ubuntu:22.04

RUN: 任意のコマンドを実行する(Linuxのコマンドを実行してその結果をレイヤーとして積み重ねる)

FROM ubuntu:22.04

RUN apt update

RUN apt-get install -y vim

ightarrow1回保存(:wq)

2部 11: Dockerfileの基礎

COPY: ホストマシンのファイルをイメージに追加する

\$ vim .vimrc(※docker-practice直下)
set number
:wq

\$ vim Dockerfile COPY .vimrc /root/.vimrc (末尾に追加)

2部 11: Dockerfileの基礎

CMD: デフォルト命令を指定する

FROM ubuntu:22.04

RUN apt update

RUN apt-get install -y vim

COPY .vimrc /root/.vimrc

CMD date(末尾に追加, ※基本はbash推奨)

確認

\$ tree -a.

イメージをビルドする

\$ docker image build [option] <path>

Hands-on!

- \$ docker image build --tag my-ubuntu:date .
- \$ docker images
- \$ docker run my-ubuntu:date(※Commandを省略)
- \$ docker run -it --rm my-ubuntu:date **bash**(**Command == bash) root@~~~~: /# vim /root/.vimrc

レイヤーを確認する(ローカルに存在するイメージのレイヤー情報を確認)

```
-/docker-paractice
>>> docker history ubuntu:22.04
IMAGE
              CREATED
                            CREATED BY
                                                                             SIZE
                                                                                       COMMENT
fd1d8f58e8ae
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop)
                                               CMD ["/bin/bash"]
                                                                             0B
<missing>
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop) ADD file:99224b1f237763b30...
                                                                            77.9MB
<missing>
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop) LABEL org.opencontainers....
                                                                            0B
<missing>
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop) LABEL org.opencontainers....
                                                                            0B
<missing>
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop)
                                               ARG LAUNCHPAD BUILD ARCH
                                                                             OB
<missing>
              12 days ago
                            /bin/sh -c #(nop)
                                               ARG RELEASE
                                                                             OB
~/docker-paractice
>>> docker history my-ubuntu:date
                              CREATED BY
IMAGE
              CREATED
                                                                               SIZE
                                                                                         COMMENT
dd2258ac9c9d
              9 minutes ago
                              /bin/sh -c #(nop)
                                                 CMD ["/bin/sh" "-c" "date...
                                                                              0B
                              /bin/sh -c #(nop) COPY file:5744921fad1f5dd3...
8dfb3af9682a
             9 minutes ago
                                                                              11B
fd1d8f58e8ae
                              /bin/sh -c #(nop) CMD ["/bin/bash"]
                                                                               0B
              12 days ago
                              /bin/sh -c #(nop) ADD file:99224b1f237763b30...
<missing>
              12 days ago
                                                                              77.9MB
                              /bin/sh -c #(nop) LABEL org.opencontainers....
                                                                              0B
<missing>
              12 days ago
                                                                                         Ubuntu:22.04と同じ!
<missing>
              12 days ago
                              /bin/sh -c #(nop) LABEL org.opencontainers....
                                                                              OB
<missing>
              12 days ago
                              /bin/sh -c #(nop)
                                                 ARG LAUNCHPAD BUILD ARCH
                                                                               0B
<missing>
              12 days ago
                              /bin/sh -c #(nop)
                                                 ARG RELEASE
                                                                               0B
```

まとめ(11: Dockerfileの基礎)

- 基本操作
 - FROM: ベースイメージを指定
 - RUN: Linuxコマンドを実行
 - COPY: ホストPCのファイルをイメージに追加
 - o CMD: デフォルト命令を指定

- 13: イメージのビルド
- 14: コンテナの起動
- <u>15: ボリューム</u>
- 16: バインドマウント
- <u>18: ネットワーク</u>
- 19: Docker Compose
- <u>● 20: デバッグノウハウ</u>

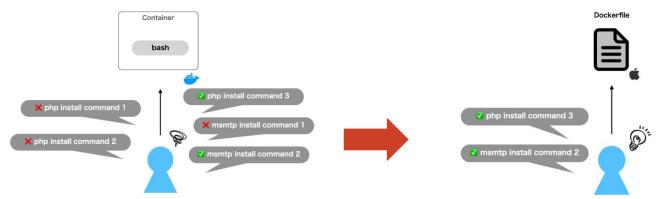
13: イメージのビルド

- Appコンテナについて
- DBコンテナについて
- Mailコンテナについて
- 構築
- DBイメージのビルド
- Mailイメージの選定
- 初めて構築するときは
- コンテナをイメージ化する(docker commit) ※参考書外

初めて構築するときは

先程まで: いきなりDockerfileを作成

→効率が悪い. 通常は, bash**で試行錯誤**してから!

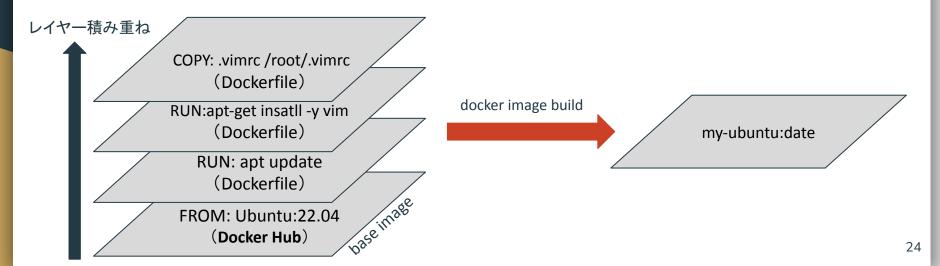


bashでコマンドを確認

コマンドが通るかや手順が確定してからOckerfileを作成

(bashで試行錯誤してからそのまま)コンテナをイメージ化する

今まで: ベースイメージにDockerfileでレイヤーを積み重ねてイメージを作成



コンテナをイメージ化する

\$ docker commit <container ID or container name> <tag>

Hands-on!

\$ docker run -it --rm --name my-ubuntu1 my-ubuntu:date bash root@~~~~: /# echo "hoge" > /home/hoge.txt

\$ docker commit my-ubuntu1 my-ubuntu:hoge

\$ docker run my-ubuntu:hoge cat /home/hoge.txt

\$ docker run my-ubuntu:date cat /home/hoge.txt

コンテナをイメージ化する

docker commitのメリット、デメリット

- ・メリット
 - バックアップに最適
 - Dockerfileをいじらなくていい
 - 時間がかからない
 - 例)インストールやビルドをしなくて済む
- デメリット
 - マルチアーキテクチャに対応できなくなる
 - 何を変更したのか分からなくなる
 - 例)説明書無しで作成した→ 全体像が分からないため, 変更が困難

14: コンテナの起動

- ●構築
- DBコンテナの起動
- Mailコンテナの起動
- MySQLデータベースの接続経路について
- コンテナが起動しないときは

3部 14: コンテナの起動

コンテナが起動しないときは

コンテナが起動しない理由は大きく2つ

- 1. Dockerの状態や操作に不備がある
 - 起動コマンドの文法が間違っている(操作ミス)
 - コンテナ名の衝突(頻繁に起こり得る)
 - → 大抵, docker run の出力を読めば分かる!
- 2. イメージや命令に不備がある

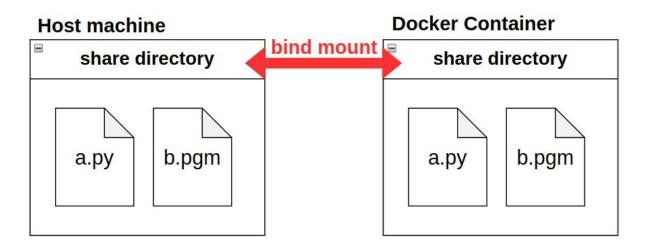
16: バインドマウント

- バインドマウントとは
- ●構築
- Appコンテナにソースコードをマウントする
- DBコンテナに初期化クエリをマウントする
- バインドマウントの実体と注意
- COPYとバインドマウントの使い分け

3部 16: バインドマウント

バインドマウントとは

ホストPCの任意のディレクトリをコンテナにマウントする仕組み



3部 16: バインドマウント

バインドマウントとは

```
$ mkdir hoge && date > hoge/hoge.yaml
$ docker run -it --rm -v ./hoge:/home/hoge my-ubuntu:hoge bash
root@~~~~~: /# vi /home/hoge/hoge.yaml
```

3部 16: バインドマウント

バインドマウントの実体と注意

バインドマウントはホストマシンのファイルシステム つまり、 管理をしているのは**ホストマシン**

ということは...

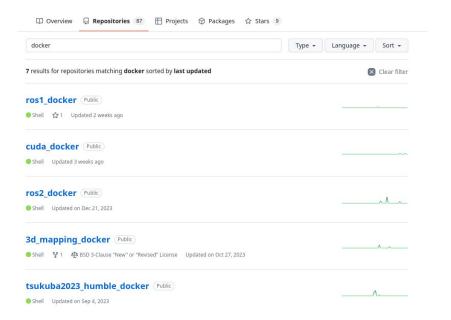
削除したものにバインドマウントしたディレクトリが含まれていると、 削除はホストマシンにまで波及する.

- GitHubでの管理
- DockerHubでの管理
- DockerHub~push

GitHubでの管理

管理するもの

- Dockerfile
- COPY元のファイル
- シェルスクリプト



実際の運用例

GitHubでの管理

\$ git clone https://github.com/masakifujiwara1/ros2_docker.git

GitHubでの管理

run_gpu.sh

```
#!/bin/bash
eval "docker container run --network host --gpus all -it --name my-humble -e
DISPLAY=$DISPLAY --volume="/tmp/.X11-unix:/tmp/.X11-unix:rw" -v
$PWD/docker_share:/home/host_files --privileged -v /dev:/dev --env="XAUTHORIT\XXAUTH"
-v "$XAUTH:$XAUTH" --env="QT_X11_NO_MITSHM=1" --ipc=host
masakifujiwara1/ros2:humble-orne-box3-sim"
```

ネットワーク設定, ディスプレイ設定, GPU設定, デバイス設定... → シェルスクリプトに押し込める

GitHubでの管理

login.sh

```
#!/bin/bash
eval "docker container exec -it my-humble-orne-box3-sim bash"
```

build.sh

```
#!/bin/bash
eval "docker image build -t masakifujiwara1/ros2:my-humble-orne-box3-sim ."
```

GitHubでの管理 ros2 docker Public Shell Updated 11 minutes ago ros1 docker Public cuda_docker Public Shell Updated 3 weeks ago 3d_mapping_docker Public ¥ 1 🗗 BSD 3-Clause "New" or "Revised" License Updated on Oct 27, 2023 tsukuba2023 humble docker Public Shell Updated on Sep 4, 2023

ros2関連を管理

- humble
- foxy
- cuda117-pytorch2.0-humble
- tokuron
- humble-orne-box3-sim

map作成用のパッケージを管理

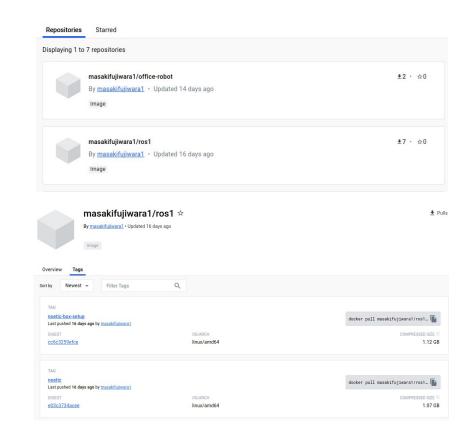
- noetic
 - cartographer
- humble
 - cartographer
 - LIO-SAM
 - li_slam_ros2



DockerHubでの管理

REPOSITORY:tag

で分かりやすく管理



DockerHub^push

\$ docker login

\$ docker push my-ubuntu:hoge

まとめ

- 1. DockerHubでimageを探してくる
- 2. imageをカスタム
- 3. docker runでコンテナ起動
- 4. 開発!!